

## 栃尾地域の新たな防災拠点へ 機能強化した栃尾消防署が業務開始！

消防本部は、老朽化した栃尾消防署庁舎を現在の栃尾大町から約600メートル北に位置する栄町2丁目・栃尾防災ヘリポート隣地へ移転する整備を進めてきました。

令和6年7月から始まった整備工事が今月末に竣工を迎え、4月1日から新庁舎での業務を開始します。

新庁舎の延べ床面積は現在の約1.6倍となります。さらに、個室仮眠室を1階に配置、車両周りのスペースを確保したことで、より迅速な災害出動ができるようになったほか、降雪期にも訓練ができる全天候型の訓練スペースも整備するなど、救急救助体制の機能強化を図ります。

生まれ変わった栃尾消防署を新たな防災拠点として、地域の安全・安心を守るため、今後も消防力の向上に取り組んでいきます。

### 1 新庁舎の概要について

#### (1) 概要

所在地：長岡市栄町2丁目1番50号（栃尾防災ヘリポート北側隣地）

構造：鉄筋コンクリート造3階建て

延べ床面積：1,369.68㎡（旧庁舎の約1.6倍）

1階：車庫、屋内訓練スペース、個室仮眠室、女性厚生スペースなど

2階：事務室、会議室、食堂、書庫、屋内訓練スペース、電気室、自家発電機室など

3階：屋内訓練スペース

配置車両：8台（消防ポンプ車、化学車、救助工作車、高規格救急車など）

配置人員：37人（うち女性職員2人を4月1日付けで初めて配置）

工事費：約8億1,800万円（交付税措置のある緊急防災・減災事業債を活用）

#### (2) 特色

- ・隣接する防災ヘリポートと連携することで救急救助体制が強化
- ・消防団会議や救急講習などに使用できる会議室を整備し、地域住民にとっての利便性向上
- ・全天候型訓練スペースを整備し、庁舎壁面、屋上、屋内などを活用した多面的で実戦的な訓練が可能に
- ・個室化した仮眠室を1階に配置するとともに、消防車両の出入口を複数設けることで、迅速に災害出動できる動線を確保
- ・女性職員専用スペースを整備（仮眠室、厚生室、シャワー室など）  
（12施設中、消防本部庁舎、関原出張所・小国出張所に次ぐ4施設目）



【庁舎・ヘリポート全景（南面）】



【庁舎（東面）】



【個室仮眠室】



【女性厚生スペース】



【壁面・3階屋内訓練スペース】

## 2 開署式について

(1) 日 時

3月29日（日）午前10時～11時

(2) 会 場

栃尾消防署 新庁舎（長岡市栄町2丁目1番50号）

(3) 内 容

式典（市長挨拶、来賓祝辞）、テープカット、庁舎および車両の見学

(4) 出席者

市長、市議会議長、産業市民委員会委員長、地元県議・市議、長岡警察署長、  
栃尾区長会長および各地区区長会長など約40人

(5) その他

地域住民に対する施設見学会（当日の午前11時～午後2時）

・春の火災予防運動防火キャンペーンを同時開催

車両展示、消防音楽隊演奏、水消火器による消火訓練、心肺蘇生法体験、  
はしご車搭乗体験、地震体験車体験、Live119体験

問い合わせ

総務課 近藤 電話0258-35-2192  
栃尾消防署 大谷 電話0258-52-1155